

- ・効果持続時間：50～120分
- ・排泄半減期：70～80分

アトワゴリバース[®] ネオスチグミン、アトロピン混合液
静注シリンジ 3mL, 6mL
AtvagoReverse Intravenous Injection Syringe 3 mL, 6 mL



- 【適 応】** • 非脱分極性筋弛緩剤の作用の拮抗
- 【用法・用量】** • 成人には1回1.5～6mL
(ネオスチグミンとして0.5～2.0mg, アトロピンとして0.25～1.0mg)を緩徐に静注
- 【特 徴】** • アトロピン：ワゴスチグミン=1:2の割合で配合されたプレフィルドシリンジ
• その他はワゴスチグミンの項目参照

2)筋弛緩回復薬

ブリディオン[®] スガマデクス
Bridion (200mg/2mL, 500mg/5mL) Sugammadex



- 【適 応】** • ロクロニウムまたはベクロニウムによる筋弛緩状態からの回復
- 【用法・用量】**
 - ①浅い筋弛緩状態 [筋弛緩モニターにおいて四連(TOF)刺激による2回目の収縮反応(T₂)の再出現を確認した後]：
1回2mg/kg 静注
 - ②深い筋弛緩状態 [筋弛緩モニターにおいてポスト・テタニック・カウント(PTC)刺激による1～2回の単収縮反応(1-2PTC)の出現を確認した後]：
1回4mg/kg 静注
 - ③ロクロニウムの挿管用量投与直後に緊急に筋弛緩状態からの回復を必要とする場合：
1回16mg/kg 静注(ロクロニウム投与3分後に使用)
- 【基本的注意】** • 筋弛緩モニターを可能な限り行う
• 自発呼吸が回復するまで必ず調節呼吸を行うこと
• 筋弛緩が十分に回復したことを確認した後に抜管
• 筋弛緩剤を再投与する必要が生じた場合、再投与する筋弛緩剤の作用が不十分なため、患者の状態を十分に観察しながら慎重投与